

# 令和8年度 教育実践助成事業 実施要綱

事業名	教育実践論文募集事業
主催	岐阜大学教育学部同窓会
後援	岐阜県教育委員会、岐阜県小中学校長会、岐阜大学教育学部
目的	岐阜県における義務教育の振興・充実のため、日々行っている教育実践の報告の場として、論文の募集を行う。
内容	小・中・義務教育学校等の教育現場に密着した継続的・累積的な教育実践論文の募集を行い、優れた教育実践を顕彰するとともに、入賞論文集を刊行し、良質な教育実践を広く周知する。

## 論文募集要項

- 1 応募資格 岐阜県内の公立小・中学校、義務教育学校、市立特別支援学校に勤務する管理職・教職員
- 2 応募方法 実践論文は関係の市町村教育委員会を通して提出する。なお、岐阜大学教育学部附属小中学校については、岐阜教育事務所を通して提出する。
- 3 執筆要領
  - ① 論文の書き方
    - ・文字は常用漢字。現代かなづかいを使用する。
    - ・学校教育の課題をふまえ、願い・問い（仮説）→実践→検証（分析・解釈）→改善（今後の方向）という取り組みの過程をふまえて記述する。
  - ② 原稿の印刷  
モノクロ印刷で提出する。印刷原稿は白黒になることから、特に図や表は十分視認できるようにコントラストに留意する。
  - ③ 本文の様式（詳細は別紙レイアウト参照）
    - ・文章の作成はワードを使用し、フォントサイズは10.5・MS明朝（見出しはMSゴシック）。
    - ・A4判6ページ（22字程度×43行～50行×2段 横書き）余白：上下左右各25mm程度
    - ・1ページ目の冒頭に研究主題・（副主題）・所属・職名・氏名を記載する（46文字程度×5行以内×1段）。上下に二重罫線を引く。
    - ・1ページ目に「概要」（46字程度×10行）を記載する。（入賞者についてはこの「概要」をそのまま論文集に掲載する）
  - ④ 図・表・写真の使用について
    - ・図とは、絵・写真・グラフを用いたりした不定形のもの指す。
    - ・表とは、文字・数字・記号・縦横の罫線だけで構成されるものを指す。
    - ・図と表は、内容が読み取れる程度の縮小に留める。
    - ・図と表は必ず区別し、図1・表1からそれぞれで通し番号を論文全体にわたってつける。
    - ・図と表には、それぞれの通し番号と共に内容を簡潔に表現した見出しをつける。
    - ・図や表を挿入する際は、必ず本文内で言及し、図や表だけが突然示されることのないようにする。
    - ・引用であれば、必ず図や表の下部に出典を明示する。
  - ⑤ 添付資料
    - ・本編以外の資料は添付しない。
    - ・ただし、本編中に実践の取り組み内容（教材として独自に作成したものに限る）として、作成したQRコードを挿入することは認める。
    - ・なお、QRコードにより示される内容は審査の対象としない。
  - ⑥ 参考文献等  
参考文献等がある場合は、論文の最後に年代順で一括掲載する。
  - ⑦ その他  
写真等は児童生徒が特定されないよう留意する。

【備考】様式は岐阜大学教育学部同窓会HPダウンロード可能

#### 4 論文提出期限 令和9年1月8日(金) 各市町村教育委員会宛

- 審査** 論文審査委員会において審査する。審査委員は次の機関の関係者に委嘱する。
- ・岐阜県教育委員会      ・岐阜県市町村教育委員会      ・岐阜県小中学校長会
  - ・岐阜県小学校長会      ・岐阜県中学校長会      ・岐阜大学教育学部
  - ・岐阜大学教育学部同窓会

#### 選考の観点

<優秀賞・優良賞・新人賞>

観点1	教育の今日的な課題を踏まえ、解決の方向が明確になっているか。
観点2	願う児童生徒の姿、指導意図、指導方法等は明確になっているか。
観点3	児童生徒の成長や変容の姿がよく表れているか。
観点4	実践内容に創造性・妥当性が見られ、説得力のある論文であるか。

【備考】観点2及び観点3の「児童生徒」をそれぞれ「教職員」と置き換えることができる。

<特別賞>

観点1	学校改善、組織改善等に係る解決したい今日的な課題が明確にとらえられているか。
観点2	改善意図、改善のための方策、改善具現のための管理職の動きは明確になっているか。
観点3	変容が具体的に示されており、変容を裏付ける根拠が明確か。
観点4	理解しやすく説得力があるとともに、汎用性がある実践内容であるか。

※管理職の実践を広めるという特別賞の性格上、観点2の「管理職の動き」、観点4の「理解しやすさ」、  
「汎用性」については、特に重視する。

#### 顕彰

- (1) 応募論文の中から優秀・優良な論文を選定し、「優秀賞」「優良賞」として顕彰する。  
最も優秀な論文を選定し、「最優秀賞」として顕彰する。
- (2) 新採6年以内教職員の論文を対象に実践奨励として、「新人賞」を選定し顕彰する。
- (3) 管理職(校長・副校長・教頭)の学校改善・組織改善等に組み込んだ応募論文の中から優秀な論文を選定し、「特別賞」として顕彰する。  
最も優秀な論文を選定し、「最優秀特別賞」として顕彰する。

#### 論文の公開

- (1) 入賞論文を、「教育実践 入賞論文集 第42集」として刊行し、岐阜県内の小中学校及び教育関係機関に配布する。
- (2) 岐阜大学教育学部同窓会HPに「第42回教育実践論文入賞者一覧」を公開する。
- (3) 論文入賞者に「教育実践 入賞論文集 第42集」を贈呈する。